

アオサギ観察会

2019年4月12日

アライグマ、とうとう現る！

1997年、野幌のアオサギコロニーがアライグマに襲われるという事件がありました。そして、その年限りで野幌コロニーは消滅。その後、野幌を追われたアオサギたちによって、平岡や江別、篠路に新たなコロニーがつけられたのはご存知のとおりです。

思えば、野幌の事件は道央のアオサギの生息地図を一変させるほどの大変な出来事でした。しかし、その後は、サギたちが町中の孤立林という比較的安全な環境に営巣



したこともあって、ほぼ20年にわたり仮初めの平和が保たれていたのです。

しかし、ますます勢力を拡大するアライグマを前に、いつまでも安穩と暮らせるわけではありませんでした。とうとう江別コロニーが彼らに見つかってしまったのです。

ここ数年、江別コロニーの営巣数は目に見えて

減り続けていました。そして、この春先、彼らが子育てする木に写真のような引っ掻き傷が多数見つかったのです。これは間違いなくアライグマです。

ただ、アオサギの場合、巣のある木にアライグマを登れなくしさえすれば、ほぼ完全に被害を防ぐことが可能で



す。そんなことで、先日、巣のかかっている木31本に写真のようなトタン板を巻いてきました。

幸い、この後ほどなくして数十羽のアオサギがコロニーに飛来、現在、十数つがい卵を温めています。以前にくらべると1、2割の規模にまで小さくなったコロニーですが、安全に子育てできる場所としてもう一度復活を遂げてほしいものです。

